

**移植深度が高冷地「コシヒカリ」の玄米品質に及ぼす影響**

高冷地「コシヒカリ」の移植深度は3 cm程度が初期生育・玄米収量・品質が安定する。移植深度が1 cm未満の場合、倒伏が助長され、玄米蛋白含有率が高くなる。また、移植深度が5 cm以上の場合、初期生育が抑制され、収量が減収し、玄米蛋白含有率も高くなる。

農業研究センター高原農業研究所 (担当者: 田中幸生)

**研究のねらい**

農家の世代交代により、手植えの経験のほとんどない若い世代が、田植機操作を行っている。特に阿蘇地域は、移植期に強風が吹きやすく、移植深度が深くなっているほ場が多い。

このため、適正な移植深度を明らかにすることを目的として、玄米収量・品質との関係を解明する。

**研究の成果**

- 1 移植深度は、3 cm程度が玄米の収量・品質が安定する (図4・表1)。
- 2 玄米蛋白含有率は、浅い方が低い傾向にある (図1・図4・表1)。
- 3 1 cm未満の浅植えでは倒伏が助長され、玄米含有率は高くなる (図4・表1)。
- 4 移植深度が5 cm以上の場合、初期生育が遅れ、最高茎数も抑制される (図2)。
- 5 移植深度7 cmの場合、葉色は遅れて推移する (図3)。

**普及上の留意点**

- 1 田植機を同じ移植深度設定にした場合においても、ほ場条件によって移植深度が異なるので、移植した苗を引き抜き確認する必要がある。

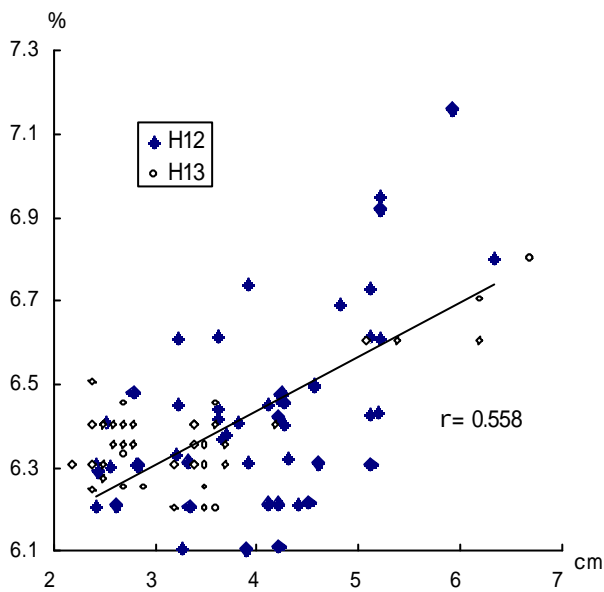


図1 移植深度と玄米蛋白含有率(現地)

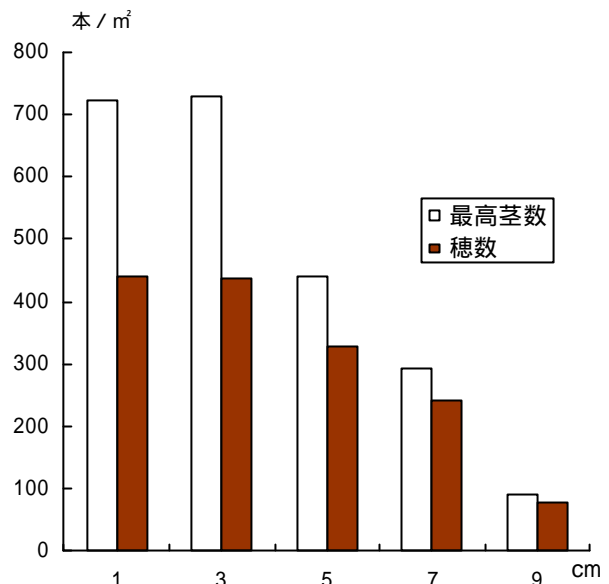


図2 移植深度の違いによる茎数と穂数

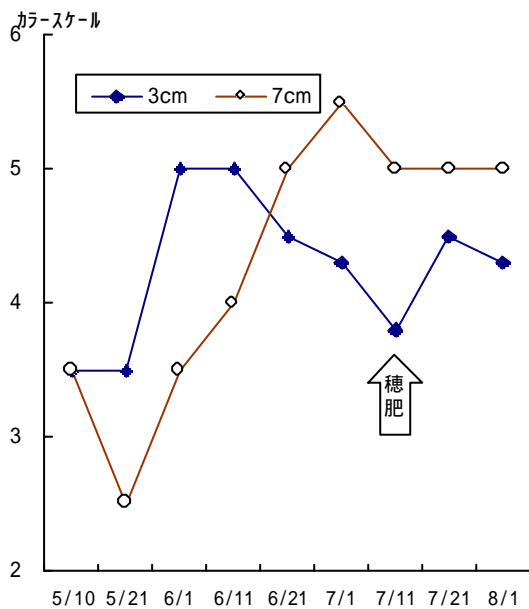
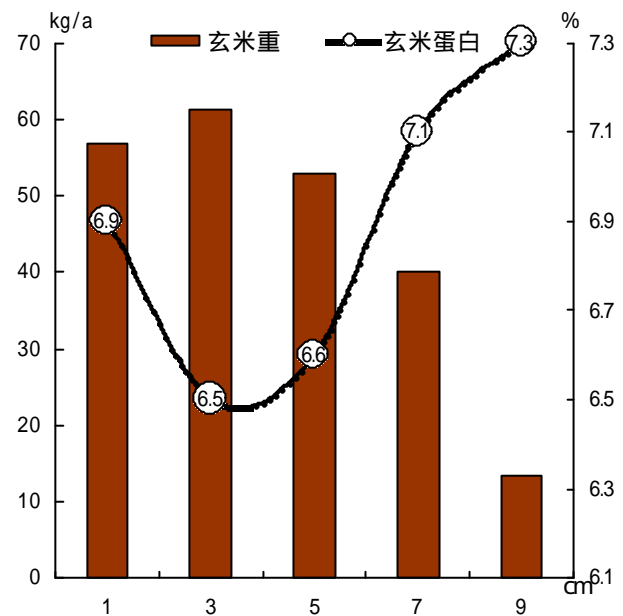


図3 移植深度の違いによる葉色の推移



■

表1 移植深度の違いが生育・収量・品質に及ぼす影響(H13)

移植深度 (cm)	最高茎数 (本/m <sup>2</sup> )	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	玄米重 (kg/a)	同左比率 (%)	玄米蛋白含有率 (%)	倒伏程度 (0~5)
1	721	8/1	9/18	94	18.4	441	56.8	93	6.9	4.5
3	727	8/1	9/18	96	18.7	437	61.2	100	6.5	1.5
5	439	8/2	9/17	86	19.9	329	52.9	86	6.6	0.5
7	292	8/2	9/16	88	19.8	241	40.0	65	7.1	0
9	89	8/3	9/16	88	20.0	78	13.3	22	7.3	0

注1) 播種量は140g/箱。移植日は5月10日。4本/株手植え。

注2) 玄米蛋白含有率は、近赤外分析(水分15%換算)。